

市立病院 MRI装置更新事業の概要

市立病院事務局経営企画課

1 MRI装置（核磁気共鳴画像診断装置）について

磁力と電波を使い体内の状態を断面像として描出する検査です。全身どこでも撮影できますが、特に脳・脊髄・関節・婦人科・前立腺領域の検査は非常に有用な情報を得ることができます。またMRIは造影剤を使用しなくても血管を描出でき、さらに水だけを描出することが可能なため胆管・胆嚢・膵管を描出することも可能です。



2 MRI装置の更新内容

現在	→	更新後
1.5T(テスラ) 2台		3.0T 1台 / 1.5T 1台

※テスラ：磁力の大きさを表す国際単位。数値が大きいほど短い撮影時間で質の高い画像が描出できます。撮影部位や目的により、3.0Tよりも1.5Tのほうが適している場合があります。

3 更新によるメリット

(3.0T)

- ・1.5Tに比べ脳血管の撮影など細かい部分の描出力が高いため、頭部の撮影においてより鮮明な画像が撮影可能になります。

(1.5T、3.0T共通事項)

- ・開口部分が現在の60cmから70cmへ広がり、患者さんへの圧迫感が軽減されます。
- ・検査中の騒音が大幅に軽減されます。
- ・高速撮像技術やコイルの多チャンネル化、AIによる画像の再構築技術等により、質の高い画像をより短時間で撮影可能になります。
- ・コイルの付替が簡便化され検査の位置決めも自動化されるため、検査そのものも大幅な時短が可能になります。
- ・検査時間の短縮に伴い検査件数を増加させることが可能になり、患者さんの検査待ち期間の短縮や各診療科からの検査需要に対応できるようになります。

4 事業費（金額の単位：千円）

	R3年度	R4年度(債務負担行為)	計
MRI装置更新事業	200,000	300,000	500,000
MRI室改修事業	60,000	65,000	125,000
計	260,000	365,000	625,000

5 更新のスケジュール（予定）

